



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東  
 コード番号 3928 URL https://mynet.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 澤野 真実 TEL 03-6864-4261  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,944	7.4	△381	—	△411	—	△908	—
2018年12月期第2四半期	5,533	△4.9	△429	—	△458	—	△3,528	—

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 △908百万円 (—%) 2018年12月期第2四半期 △3,528百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	△107.51	—
2018年12月期第2四半期	△422.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	6,385	2,761	43.0
2018年12月期	6,872	3,648	52.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 2,745百万円 2018年12月期 3,632百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年度12月期 下期（累計）	6,000 ～6,300	△9.1 ～△4.6	△400 ～△250	—	△407 ～△257	—	△20 ～130	△102.3 ～△84.9
2019年度12月期 通期	11,944 ～12,244	△1.6 ～0.9	△781 ～△631	—	△818 ～△668	—	△25 ～124	△102.7 ～△86.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）—

除外 1社（社名）株式会社GMG

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年12月期2Q	8,471,200株	2018年12月期	8,421,000株
2019年12月期2Q	230株	2018年12月期	230株
2019年12月期2Q	8,447,508株	2018年12月期2Q	8,352,232株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する国内ゲームアプリの市場規模は、「ファミ通ゲーム白書2019」によると、2017年に10,580億円(前年比109.1%)、2018年に11,660億円(前年比110.2%)を達成し、2019年は12,500億円、2020年は13,000億円と成長を続けていくと予想されております。しかし、中国・韓国系企業のタイトルのシェアは年々増加しており、競争環境は激化しております。そのため資金調達力などの企業体力に限界のある小・中規模事業者の淘汰が進んでおり、今後も事業者間の合従連衡が行われていくものと考えております。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォンゲームの運営に特化したゲームサービス事業を営んでおります。既にリリースされているゲームタイトルをゲームメーカーから買取や協業またはM&Aで仕入れ、国内最大数のゲーム運営で蓄積したビッグデータに基づくノウハウやAI基盤を活用することで、ユーザーの皆さまが長く、ワクワク楽しめる空間を提供しております。

当社グループは、ゲームサービス事業という新たな業態をゲーム産業に確立して、事業目標である「100タイトル100チーム10年空間」を達成するため、2019年12月期は仕入範囲の拡張と仕入ペースの加速を行いました。具体的には、現在市場に増加している赤字運営タイトル(再設計型)の買取を積極的に推し進め、当第2四半期累計期間において6タイトル運営開始いたしました。しかしながら、6カ月の再設計期間を経て黒字化を目指す再設計型の再生や新機能開発などで売上伸長を狙う既存タイトル(グロスアップ)が計画と乖離する結果となりました。一方で、その他の既存タイトルは安定的に推移しており、エンディングについても、当第2四半期累計期間において、計画通り6タイトルで行いました。その結果、2019年6月末時点で37タイトル運営となっております。また、全領域AI進化に向けたAI・RPAの開発やセキュリティ対策等のコーポレートブランディングに投資を行いました。RPAについては、既に5タイトルに導入が出来ており、導入した5タイトル全てで1年以上の運営延長が決定しているなど「10年空間」の実現に向けて着々と進行しております。

加えて、買取時に策定した回収計画通りに進んでいない2タイトルについて、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき特別損失として減損いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,944,745千円(前年同期比7.4%増)、営業損失は381,536千円(前年同期は営業損失429,511千円)、経常損失は411,734千円(前年同期は経常損失458,139千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は908,199千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3,528,604千円)となっております。

2019年下半期以降は、規模成長の追及から持続的利益体質へと目指す戦略にと転換し、構造改革を行ってまいります。再設計型の獲得及びグロスアップなどのチャレンジは抑制し、データドリブンによってグロス減率良化と運営のスマート化を実現します。さらに人件費、採用費、外注費などの全社コストを圧縮して収益性を高めてまいります。詳細は同日に公表いたしました「2019年12月期第2四半期決算説明会資料」及び「転換点 リカバリープラン」をご参照ください。

なお、当第2四半期連結累計期間における当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて486,612千円減少し、6,385,777千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比292,912千円の増加）があった一方で、繰延税金資産の減少（前連結会計年度末比296,416千円の減少）、のれんの減少（前連結会計年度末比170,066千円の減少）及び売掛金の減少（前連結会計年度末比167,751千円の減少）などがあったことによるものであります。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて400,150千円増加し、3,623,790千円となりました。これは主に、社債の増加（前連結会計年度末比427,750千円の増加）、1年内償還予定の社債の増加（前連結会計年度末比200,000千円の増加）などがあった一方で、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比126,777千円の減少）、1年内返済予定の長期借入金の減少（前連結会計年度末比121,806千円の減少）などがあったことによるものであります。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて886,763千円減少し、2,761,987千円となりました。これは、資本金の増加（前連結会計年度末比10,756千円の増加）、資本剰余金の増加（前連結会計年度末比10,756千円の増加）があった一方で、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比908,276千円の減少）があったことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の分析については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて292,912千円増加の3,343,914千円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、66,460千円となりました（前年同期は208,460千円の収入）。主な収入要因は、減価償却費206,090千円、のれん償却額170,066千円、売上債権の減少額167,751千円であり、主な支出要因は税金等調整前四半期純損失576,359千円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、144,764千円となりました（前年同期は1,609,516千円の支出）。主な支出要因は、無形固定資産の取得による支出56,520千円、長期前払費用の取得による支出50,850千円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、504,138千円となりました（前年同期は1,488,634千円の収入）。主な収入要因は、社債の発行による収入976,681千円であり、主な支出要因は、社債の償還による支出372,250千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年8月14日公表の業績予想に関する修正の開示をご覧ください。  
今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,051,001	3,343,914
売掛金	1,492,514	1,324,763
未収還付法人税等	42,950	—
その他	252,355	303,470
流動資産合計	4,838,821	4,972,149
固定資産		
有形固定資産	106,746	123,007
無形固定資産		
のれん	773,938	603,872
その他	127,267	83,776
無形固定資産合計	901,205	687,649
投資その他の資産		
長期前払費用	359,413	214,480
繰延税金資産	303,612	7,196
その他	362,591	381,294
投資その他の資産合計	1,025,616	602,972
固定資産合計	2,033,568	1,413,628
資産合計	6,872,390	6,385,777
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	315,040	278,206
未払金	228,910	312,978
1年内返済予定の長期借入金	121,806	—
1年内償還予定の社債	744,500	944,500
未払法人税等	140,979	14,202
サーバー不正アクセス対策引当金	32,100	—
その他	257,053	257,709
流動負債合計	1,840,389	1,807,596
固定負債		
社債	1,383,250	1,811,000
資産除去債務	—	5,193
固定負債合計	1,383,250	1,816,193
負債合計	3,223,639	3,623,790
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,999,443	3,010,200
資本剰余金	2,980,000	2,990,757
利益剰余金	△2,346,434	△3,254,710
自己株式	△353	△353
株主資本合計	3,632,656	2,745,893
新株予約権	16,093	16,093
純資産合計	3,648,750	2,761,987
負債純資産合計	6,872,390	6,385,777

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,533,317	5,944,745
売上原価	3,593,713	3,702,922
売上総利益	1,939,603	2,241,823
販売費及び一般管理費	2,369,115	2,623,359
営業損失(△)	△429,511	△381,536
営業外収益		
受取利息	11	19
為替差益	—	449
法人税等還付加算金	3,250	457
還付消費税等	391	6
雑収入	706	140
その他	0	0
営業外収益合計	4,359	1,073
営業外費用		
支払利息	3,160	1,097
社債発行費	24,325	23,318
社債利息	2,723	6,558
為替差損	1,473	—
その他	1,304	297
営業外費用合計	32,987	31,271
経常損失(△)	△458,139	△411,734
特別損失		
固定資産除却損	2,826	2,480
減損損失	1,740,498	162,144
サーバー不正アクセス対策損失	456,173	—
特別損失合計	2,199,498	164,624
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,657,637	△576,359
法人税、住民税及び事業税	43,501	35,501
法人税等調整額	827,465	296,339
法人税等合計	870,966	331,840
四半期純損失(△)	△3,528,604	△908,199
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,528,604	△908,199

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△3,528,604	△908,199
四半期包括利益	△3,528,604	△908,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,528,604	△908,199
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,657,637	△576,359
減価償却費	316,804	206,090
のれん償却額	203,997	170,066
受取利息及び受取配当金	△11	△19
支払利息及び社債利息	5,883	7,655
減損損失	1,740,498	162,144
固定資産除却損	2,826	2,480
サーバー不正アクセス対策損失	456,173	—
売上債権の増減額(△は増加)	△136,253	167,751
未収入金の増減額(△は増加)	△8,563	3,652
仕入債務の増減額(△は減少)	6,353	△62,421
未払金の増減額(△は減少)	186,786	41,503
その他	△131,662	△19,117
小計	△14,804	103,426
利息及び配当金の受取額	11	19
利息の支払額	△5,883	△7,655
サーバー不正アクセス対策に係る補填等の支払額	△1,061	△32,100
法人税等の支払額	△40,567	△173,101
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	270,766	42,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	208,460	△66,460
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
子会社株式の取得価格修正による収入	—	10,416
子会社株式の取得による支出	△1,442,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△8,010
事業譲受による支出	—	△2,847
有形固定資産の取得による支出	△14,792	△22,609
無形固定資産の取得による支出	△1,679	△56,520
敷金及び保証金の回収による収入	8,223	706
敷金及び保証金の差入による支出	△45,313	△15,049
長期前払費用の取得による支出	△113,954	△50,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,609,516	△144,764
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△73,200	—
長期借入金の返済による支出	△411,524	△121,806
社債の発行による収入	1,925,674	976,681
社債の償還による支出	—	△372,250
新株予約権の行使による株式の発行による収入	41,559	21,513
新株予約権の発行による収入	6,124	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,488,634	504,138
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87,577	292,912
現金及び現金同等物の期首残高	2,292,069	3,051,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,379,647	3,343,914

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な引当金の計上基準)

サーバー不正アクセス対策引当金

当社グループである株式会社マイネットゲームズのサーバーへの不正アクセスが発生したことによる協業先への補填等の支出に備えるため、費用負担額として見込まれる金額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式としての新株式の発行)

当社は、2019年5月15日開催の取締役会において、譲渡制限付株式としての新株式の発行を行うことを決議し、2019年7月16日に払込が完了いたしました。

(1) 発行の目的及び理由

当社は、2019年5月15日開催の取締役会において、所定の要件を満たす当社の従業員を対象に、当社グループの企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、対象従業員と株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式としての新株式の発行を行いました。

(2) 発行の概要

① 払込期日	2019年7月16日
② 発行する株式の種類及び数	普通株式 125,000株
③ 発行価額	1株につき金962円
④ 発行総額	120,250,000円
⑤ 資本組入額	1株につき481円
⑥ 資本組入額の総額	60,125,000円
⑦ 募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割当て方法
⑧ 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
⑨ 割当対象者及びその人数並びに割当株式数	当社の従業員 17名 125,000株
⑩ 譲渡制限期間	2019年7月16日～2023年7月15日